

# やまがた 議会だより

平成30年7月

No. 125

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 三澤一男）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



「ほっこり座」の人形劇

「ほっこり」がいっぱい…!!  
＝やまのこまつり＝《やまのこ保育園》

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| ■第2回議会定例会 ……………2   | ■一般質問……………4～6     |
| ■主な議案 ……………2       | ■コラム 今・昔／議会日誌 ……7 |
| ■初議会・新議員広域施設組合視察…3 | ■私の一言 ……………8      |

# 平成30年 第2回議会定例会

平成30年山形村議会第2回定例会が6月6日に開会し、14日まで9日間開催した。

平成30年度一般会計補正予算など5議案を可決し、また、固定資産評価委員の選任につき同意を求める人事案に同意した。

義務教育国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願と最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情については、意見書を採択し内閣総理大臣、厚生労働大臣等へ提出することとした。

一般質問は9人が登壇し、2日間にわたり村政全般について質問を行なった。

## 補正予算

○平成30年度一般会計補正予算  
(第2号)

歳入歳出の総額にそれぞれ2千9百64万2千円を追加し、総額36億4百92万4千円とした。主に人事異動等に伴う補正

○水道事業会計、介護保険特別会計の補正

○山形村個人情報保護条例の一部を改正

要配慮個人情報等の条文等  
○山形村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

印鑑の登録時の申請項目

「男女の別」削除

主な事業等補正予算

### 総務費

地域づくり事業費

コミュニティ助成事業補助

金(宝くじ)百30万円 上竹

田公会堂(机・いす)

### 健康福祉センター費

特殊浴槽購入費6百48万円

### 商工費

清水寺展望台地盤調査委託料2百2万円

### 消防費

消火栓消防ホース60本  
90万5千円

### 教育費

グラウンド照明修繕  
45万6千円

## 報告

○平成29年度山形村一般会計

繰越明許費繰越計算書

特定個人情報に関する「安

全管理措置」対応支援事業

## 同意

○固定資産評価員の選任

小林 かつ代氏(下大池)

## 請願

○義務教育費国庫負担制度の堅持、拡充を求める請願

## 陳情

○最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求めるもの

## 山形村役場庁舎前

Ⅱ山形村民憲章の碑Ⅱ  
村の花 さつきが咲き誇り  
村の木 いちいが緑濃く  
存在感を増しています



### 【山形村民憲章】

- 一、豊かな大地と緑を愛し  
限りなく躍進する村を育てよう
- 一、力を合わせ  
活力ある平和な村を育てよう
- 一、明るい笑顔で健康と  
安らぎのある村を育てよう
- 一、未来を見つめ  
高い教育文化の村を育てよう
- 一、暖かい心のふれあう  
福祉の村を育てよう

昭和60年12月20日策定

## 初議会報告

4月23日  
議長・副議長決まる

### 平成30年 第2回山形村議会臨時会

付議案件18件

議長、副議長、各委員長等が選挙により決まり、監査委員の選任に同意した。

山形村税条例等・山形村国民健康保険条例・山形村教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の専決処分承認、平成29年度山形村一般会計補正予算(第8号)の専決処分承認する。  
平成30年度山形村一般会計補正予算(第1号)を可決した。

### 議長あいさつ

三澤 一男

この度、初議会において、議員各位の推挙により議長に就任いたしました。

地方分権が進み、議会が果たす役割はますます重要になり、その職責の重大さを感じて身の引き締まる思いです。二元代表制のもと、議会の役割をしっかりと果たすと共に、議会改革をさらに推し進め議会基本条例の制定に向けての研究と政策提言、政策立案に努めていく必要があります。村議会は、住民福祉向上のため、村政が身近なものになるよう、希望溢れる村に向かって努力して参ります。今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議長 三澤一男 副議長 福澤倫治  
総務産業常任委員

委員長 竹野入恒夫 副委員長 百瀬章

委員 新居禎三 百瀬昇一 上條倫司

三澤一男

福祉文教常任委員

委員長 春日 仁 副委員長 大月民夫

委員 小出敏裕 小林幸司 大池俊子

福澤倫治

議会運営委員会

委員長 大月民夫 副委員長 新居禎三

委員 竹野入恒夫 春日 仁

議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬昇一 副委員長 小出敏裕

委員 大池俊子 竹野入恒夫 百瀬章

三澤一男

議会選出監査委員

大池俊子

### 副議長あいさつ

福澤 倫治

この度、山形村議会議員改選に伴い、副議長に就任いたしました。

もとより、微力な私ではありますが、今までの行政経験を活かしながら、三澤議長を補佐し、議員および長部局と一緒に、自立の山形村の発展に尽力して参りたいと考えておりますので、皆様方のご指導・ご協力をお願いいたします。就任のあいさつといたします。

6月15日

## 新議員による

### 広域施設組合視察

新しい議員が、山形村に関する広域事務組合等の行政施設視察を行いました。

○松本クリーンセンター・あずさセンター

(松塩地区広域施設組合)

○広域豊科葬祭センター(安曇野松筑広域

環境施設組合)

○松本広域消防局(松本広域連合)

消防通信指令システム、消防車両の見学

体験



はしご車に試乗する

そこが  
聞きたい

一  
般  
質  
問

6月議会一般質問は7日(木)・8日(金)に行なわれ、村政全般に亘って9人が質問した。

## 高校生の通学バスについて

村長 本年度、将来の公共交通の在り方を検討する新しい組織の設置を計画する



春日 仁 議員

路線バスに補助が出ているが、更なる補助は。

平成29年度に補助率を変えて、路線バス片道運賃の2分の1の補助をしている。村内のコンビニでも回数券が購入できる。今後、利用促進効果の検証をしていく。

以前、村の通学バスが運行されていたが、何故やめたのか。

年々、利用者が減少してきたため廃止した。

村の通学バスの復活の検討は。

村では通勤・通学手段の確保だけでなく、高齢者など交通弱者の移動手段を含めて、山形村の公共交通の在り方を研究していく。

その他、児童館の障がいのある児童の受け入れについて質問した。

## 今後の観光施策は

村長 「観光地づくり」から「観光地域づくり」への転換



百瀬 章 議員

観光協会の位置づけは。

平成2年に設立、平成14年に商工会に事務委託、平成21年に案

内所を設置しイベントを実施している。村の施策と協会のイベントなどの棲み分けをし、山形村版の観光地域づくりに向けて、今まで以上に村の振興、活性化に取り組んでいく。

村の現在の観光資源と今後の観光資源の開発は。

## 県営競争力強化基盤整備事業について

村長 事業年度、事業費の変更があった



福澤 倫治 議員

県営競争力強化基盤整備事業の事業年度、事業費、事業概要は。

当初は平成28年度から平成32年度の5

ケ年、総事業費9億9千万円であったが、平成33年までの6ケ年、総事業費10億千3百万円に変更になった。

この事業の下流となる三間沢川の土砂がだいぶ堆積している。早い撤去対応を望む。

現在は道祖神、唐沢そば集落、ブルーベリーなどの収穫体験ができる観光農園、清水寺などがある。今後は「そこに住む人・生活・文化・食・風土」などを含めた地域全体を楽しんでもらえる観光地域づくりが必要だと考える。

観光交流人口を増やすための施策は。

村単独での誘客は難しいため、県の観光部、松本広域連合、日本アルプス観光連盟などと連携し、パンフレットを配布して周知をはかる。また、首都圏にある県の観光情報センターなどでパンフレットを配ると共にホームページによる情報発信、関係各機関へのリンク、広域観光サイトへの情報の掲載を行なっていく。

その他、人口の社会増について質問した。

県の機関と協議を進めたい。

## 障がい児の入浴サービスについて

現状の重度障がい児に対する入浴サービスの状況は。

現在2名の方が訪問入浴サービスを、週1、2回の利用をしている。

社会福祉協議会の施設を利用しての入浴を進めたらどうか。

社会福祉協議会と協議を進める。

その他、忠魂碑と慰霊祭について質問した。

## 公共施設におけるバリアフリー化について

長 公共施設に限らず  
村 バリアフリー化を推進していく



小出敏裕 議員

**Q** 第5次山形村総合計画後期基本計画、障がい者計画について、具体的な計画は。

**A** 現時点での具体的な計画策定の予定はないが、障がい者にとって住みよい環境推進のため、障がい者の抱える障壁を取り除く取組を継続し、広報啓発活動や相談体制を充実していく。

## 保育園バスのステップ故障は

長 予算などの諸事情で遅れた



大池俊子 議員

**Q** 保育園バスのステップ部分の故障はいつごろから起きたのか。

**A** 今年の2月14日にシルバー人材センター

**Q** 1の運転手から報告があったと聞く。故障からすでに4ヶ月以上たっている。修理申請はいつ出したか、その遅れの原因は何か。

**A** 年度末であり、予算などの諸事情で結果として修理の対応が遅れてしまった。

**Q** バリアフリー化の検討メンバーへの障がい者の参加はあるか。

**A** 障がい者手帳所持者、知的障がい者育成会、障がい者総合支援相談センター等が参加している。今後も関係団体と意見交換の上進める。

**Q** 信州パーキング・パーミット制度には、健常者の頻回利用等の問題が山積しているが、どう思うか。

**A** 信州パーキング・パーミット制度は『ゆずりあい』の精神が不可欠であるが、具体的な打開策はない状態だ。適正利用の周知を図り、この制度の利用促進に努める。その他、本村の介護保険制度について質問した。

**Q** 大変申し訳ないことだと反省している。

**A** 職員の危機管理についての意識についてはどうか。

**A** 日々の業務の中で、それぞれの危機管理について適切な対応ができるよう、常に検討しておくことが大切だと考えている。想定するリスクを洗い出し、事前に回避するためのリスク管理も大切だと考えている。

**Q** その他、なろう原霊園に「合葬式墳墓」などの創設、子どもの医療費窓口無料化を高校卒業までと障がい者まで広げてについて質問した。

## 山形村風食防止対策の進捗は

長 現在、風食は村で取り組むべき課題と  
村 位置づけ、新しい委員会で検討



上條倫司 議員

**Q** 山形村風食防止対策検討委員会要綱の第2条第1項風食の発生予察に関する事項、第2項風食防止対策に関する

**A** 事項、第3項風食防止対策に関する事項、第4項その他風食防止対策に関する事項で何十年に及ぶ事業の中で、今までに確立したこと、わかったことは。

**A** 山形村風食防止対策検討委員会では、風食は村で取り組むべき課題との思いから、平成29年7月に新たな委員会を設置し、広く委員から意見を聞く取り組みとした。

## あいさつについて

**Q** 来庁者に対するマニュアルはあるか、受付者が心掛けていることは。

**A** 来庁者に対する統一したマニュアルはない、来庁者へのあいさつは接客マナーの基本である。

**Q** 接客方法については、それぞれのケースにより臨機応変に対応することも必要であり、相手との信頼関係を築くため、また仕事をより合理的にするためにも大事である。

## 「通学路」防犯体制の強化を 防犯カメラ設置計画づくりを検討する



大月 氏夫 議員

新潟市での女児殺害・遺棄事件は、日本中に恐怖と不安の激震が走った。当村においても「登校時の見守り体制」の現状を見つめ直し、防犯体制強化の転機と思われる。

**Q** 児童への注意喚起の手法は。

**A** 自らの命を守る安全教育の実施や、不審者に遭遇した時の対応の仕方、防犯ブザーの使い方など日常的な指導を行なっている。

**Q** 行政主体で通学路に「防犯カメラ」を設置する選択肢も抑止力効果が期待できるが、所見を。

**A** 犯罪の未然防止、事件・事故の早期解決に繋がり、行方不明者の捜索などにも活用されている。通学路も含め子供たちの安心・安全という面においては、防犯カメラの必要性は認識している。専門家も含め調査研究を進めていく。

**Q** 福祉バスや保育園通園バスのドライブレコーダの搭載も抑止力効果が期待できる。

**A** 地域の防犯対策についても注目され、公用車への搭載は必要性を感じている。その他、前年度踏襲主義の総検証について質問した。

今後どのように取り組みをされるのか。

**A** 山形村も少子高齢化の中、地域社会の変化は避けられない。

未来を見据えて、若い世代に合ったルール創りも必要な時がきた。

自治基本条例は、今後研究検討する。

### 公民館活動について

**Q** 公民館運営審議会等組織を活かしての公民館活動の活性化を進めてもらいたい。組織的に学びあう活動を通じ、公民館活動の認識を高めていく。

## 空き家対策は 空き家バンクの設置など検討



新居 禎三 議員

**Q** 空き家の実態調査の結果3軒に危険が迫っているとされたが、どのような対策をするのか。

**A** 外見目視調査であるから、詳しい調査を行なうなどして、所有者に危険な状態であることについてお知らせをしていく。

**Q** 特別措置法での空き家等計画を策定していくのか。

**A** 解体や利活用の際、国からの補助金申請など必要とされ、個別の案件なども考慮して策定していきたい。また、空き家バンクの設置や解体等のための補助制度も考えている。

**Q** 今後、住民等の相談のための専門窓口の設置をするか。

**A** 従来通り総務課で対応をしていく。件数によっては、地域おこし協力隊にお願いすることも考えている。

その他、改元後の公文書の表記について、健康寿命延伸の取り組みについて質問した。

## 山形村の地域コミュニティの在り方は

村長 山形村の未来の課題、若い世代の意見を取り入れ、自治基本条例の制定も視野に入れていきたい



百瀬 昇一 議員

**Q** 山形村では「山形村の地域コミュニティ」に関する検討委員会にて、検討が重ねられている。この問題は持続・継続することに意義がある。自治体の憲法といわれている、自治基本条例を多くの村民で創り、制定することだと思ふ。

# 思い出と期待と

傍聴席に入ると身が引き締まる。席に座って議場を見ると過去の自分が蘇る。

私が議員になったのは平成6年、24年前のことだ。

当時の議員選挙は、常会持ち回りのブロック制で一期交代が通例であった。

それに対し、新聞報道は地方政治における議員の選出方法に疑問を投げかけ、山形村をその組上に載せた。

名古屋市の従兄は驚いて「山形村はこんな状態なのか。改革しないとももの笑いの種になるぞ！」と記事を添えて叱責の手紙を送ってきた。

「井の中の蛙」では駄目だと気付かされた事感慨深く思い出す。

さて、今年選挙を経て一期目の議員が加わり、6月の議会定例会を迎えた。

議場は緊張感に溢れているように見えた。

新議員の皆さんは初心を忘れず、安心で安全で生き甲斐の持てる山形村になるよう、全力を尽くしていただきたい。



百瀬厚美  
(下竹田)

## 議会日誌

(予定)

### 《4月》

- 23日 初議会
- 26日 新議員

平成30年予算説明会

### 《5月》

- 8日 議員研修会
- 23日 議会全員協議会
- 25日 花いっぱい運動  
花壇植栽

### 《6月》

- 6日 平成30年度第2回山形村  
定例議会
- 議会全員協議会
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 11日 総務産業常任委員会
- 12日 福祉文教常任委員会
- 14日 本会議
- 15日 議会全員協議会
- 新議員による広域組合施設  
の視察

### 《7月》

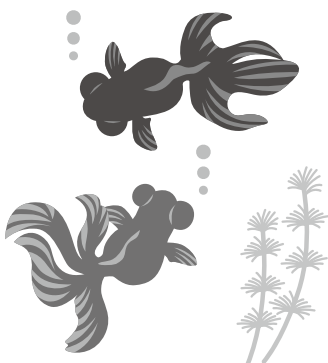
- 18日 議会全員協議会
- 20日 議会研修会

### 《8月》

- 23日 東筑摩郡議員大会

### 《9月》

- 4日 平成30年度第3回山形  
村定例議会
- 議会全員協議会
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 10日 議会全員協議会
- 11日 総務産業常任委員会
- 12日 福祉文教常任委員会
- 14日 本会議
- 議会全員協議会
- 28日 東筑摩郡議員交流会



私の一言



子育てしやすい村に

土田直子

(上大池)

夫婦共に、山形村に県外より引越してきてもうすぐ5年。どこを見ても緑が目に入り、風や水の音、田んぼのにおいを感じたり、土に触れ、子どもが育つにはとても素敵な環境だと思います。

私自身も山形村の伸び伸びとした気さくな雰囲気、豊かな自然に癒されながら大切な家族との毎日を幸せに過ごしています。初めての出産は、夫婦だけで赤ちゃんの世話は不安でした。病院での産後ケアも考えましたが、高額のためあきらめました。

今年より産前・産後サポート事業が始まります。この秋には2人目の子を安心して出産できます。

山形村の子育て支援ショートステイ、病後児保育、ファミリーサポート事業など、心の支えになります。



就農して感じたこと

古畑 健

(小坂)

私は山形村で生まれて60年になります。地元の企業に就職し35年勤めた後、早期退職し3年前より農業をしております。定年になったら農業をするつもりでしたが、勤めていた会社が転機を迎えて、経験より若さが重視されるようになったので、迷うことなく就農の道を選びました。

しかしながら農業に特別な思い入れがあったわけではなく、意欲的に取り組んでおられる先輩農家さんを見ると気恥ずかしい思いをすることもあります。そんな私ですが、豊かな自然環境を守る為にも農業に取り組むことの大切さを感じております。山形村が今後も農業を通じて自然豊かで調和のとれた発展をしていくことを望んでおります。

旬の味

6月18日、大阪北部を震源とする大きな地震が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年も早いもので折り返しとなりました。今年は幼い子どもが巻き込まれる事件・事故が目立っています。我々大人や、地域で守ることができた命があったと思います。

我が山形村の「安心は?」「安全は?」と、考える日々です。やはり、隣同士のお付き合いや地域コミュニティが重要だと思います。

平成の時代も間もなく終わり、新しい年号になりますが、安心で安全な時代であってほしいと心から願っています。

春日 仁

編集後記

少子高齢化の時代が進む中、山形村も例外なく対応が迫られています。

昭和50年代より宅地造成が進み、また平成7、8年頃はアパート、集合住宅が急増しました。

そんな中、山形村も地域コミュニティが問題になってきました。

連絡班・区への未加入世帯の急増に伴い、住民のつきあい方が多様化しています。

今後、一定のルールの中で地域の安心・安全、助け愛の力、創り方を考えていきたいと思えます。

議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 百瀬 昇一 |
| 副委員長 | 小出 敏裕 |
| 委員   | 大池 俊子 |
| 〃    | 竹野入恒夫 |
| 〃    | 百瀬 章  |
| 〃    | 三澤 一男 |